

2012年1月31日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

幼児教育、福祉教育分野で社会貢献に期待

岐阜大学応用生物科学部と大学間連携

中部学院大学（岡本 健 学長）ならびに中部学院大学短期大学部（片桐 多恵子 学長）は**岐阜大学応用生物科学部と大学間連携**を結ぶことになりました。

今年度から、同学部の管理する農場を本学短期大学部専攻科・幼児教育学科の学生が借り、同学部の教職員や学生から指導を受けながら農業体験をするなど交流する機会がありました。今回の連携では、両大学にとって、教育の可能性を広げ、社会貢献を進めることを期待しています。具体的には、**▼本学が行う農業体験学習における農場利用や技術指導 ▼岐阜大学応用生物科学部が行う社会福祉に関する事業の知識・技術、情報提供 ▼両大学の学生の交流、教職員による共同研究 ▼両大学が有している人的資源や物的資源、情報などの活用**—などが盛り込まれています。

記

- 日時 2012（平成24）年2月10日（金） 14時から14時30分
- 場所 岐阜大学応用生物科学部 第2会議室
（岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-2835）
- 出席者 岐阜大学応用生物科学部 金丸 義敬 学部長
中部学院大学 岡本 健 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 総合研究センター（担当：村上） TEL:0575-24-2238

岐阜大学応用生物科学部との大学連携について

■ 経過と意義

今年度、短期大学部の専攻科・幼児教育学科の学生が、岐阜大学応用生物科学部が管理する農場をお借りして、同学部の教職員・学生から指導を受けながら農業体験などいくつかの交流の機会がありました。これは、幼児教育や介護・福祉の人材養成を行っている本学にとって得がたい体験であるとともに、障がい児教育や認知症高齢者の介護予防などに、農業を活用し福祉と農業を結びつける意義のある研究分野でもあります。また、岐阜大学にとっても、幼児教育や福祉教育を専門とする本学から、障がい児や認知症高齢者についての基礎的な理解や援助法を学ぶことで、学部教育の可能性を広げ社会貢献を進めることが期待されています。

■ これからの交流・共同事業

- (1) 中部学院大学が行う農業体験学習における農場利用及び技術指導に関すること
- (2) 岐阜大学応用生物科学部が行う社会福祉に関する事業の知識・技術、情報提供に関すること
- (3) 両大学の学生の交流、共同学習に関すること
- (4) 両大学の教職員による共同研究等に関すること
- (5) 両大学が有している人的資源や物的資源、情報等の活用に関すること
- (6) その他連携・協力にかかる必要事項